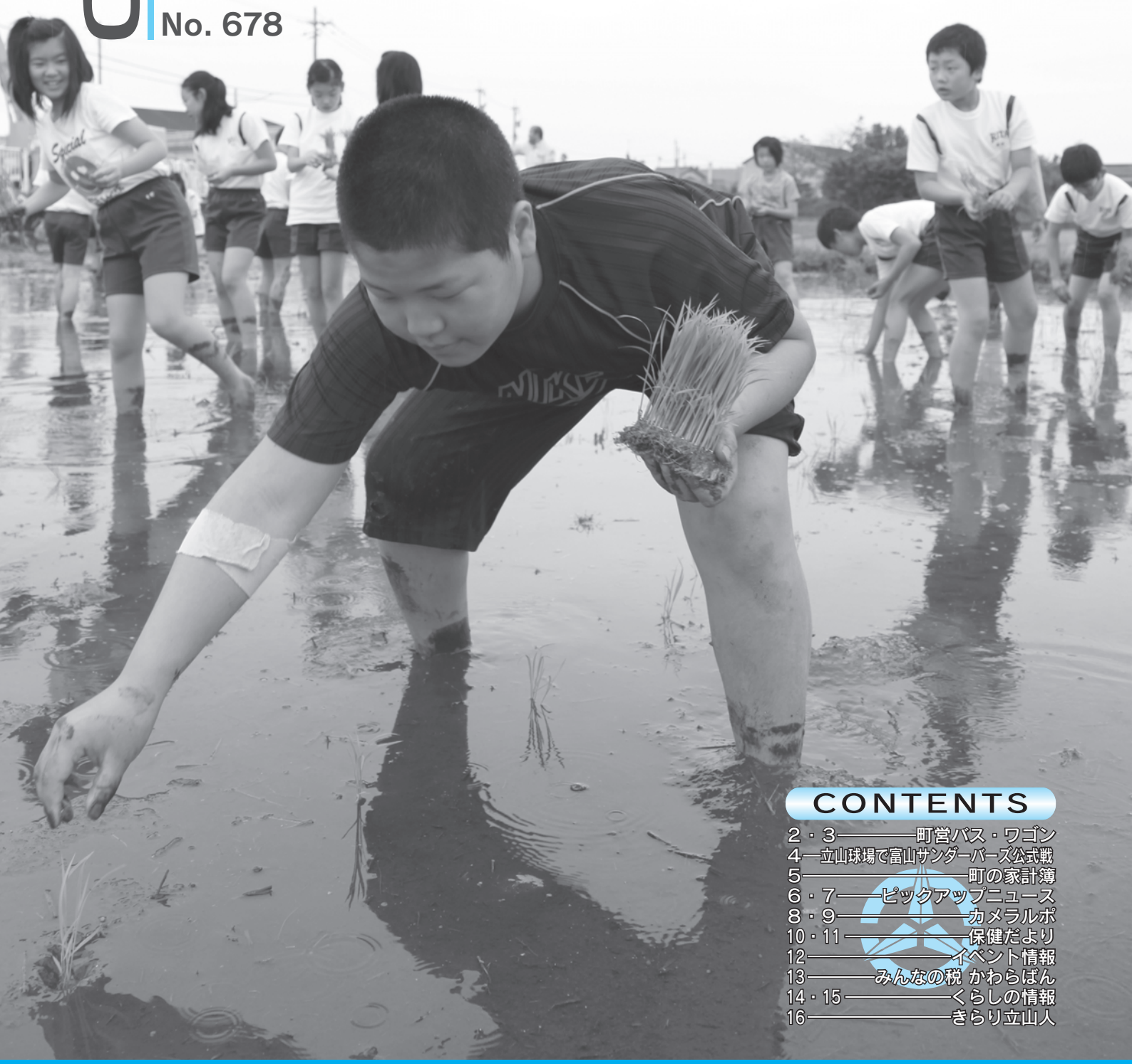
Town News
広　報
たてやま
TATEYAMA

6 JUNE（水無月）
2010 平成22年
No. 678

おいしいお米ができますように

利田小学校の５年生児童 54 人が５月 19 日、学校田で田植えを体験しました。ころがしで目印をつけた水田に入った児童は「おいしいお米ができますように」と心を込めながらコシヒカリの苗を植えました。



CONTENTS

2・3――町営バス・ワゴン
4―立山球場で富山サンダーバーズ公式戦
5――町の家計簿
6・7――ピックアップニュース
8・9――カメラルポ
10・11――保健だより
12――イベント情報
13――みんなの税 かわらばん
14・15――くらしの情報
16――きらり立山人

町民の皆さんの生活の足を確保

町営バス・ワゴンで出かけませんか

町では、公共交通の空白地域に町営バス・ワゴンを運行しています。バスの運行は「伊勢屋線」「吉峰線」「北部循環支線」の3路線、ワゴンの運行は「利田・大森線」「新川・下段線」の2路線です。町民の皆さんの交通手段を確保し、福祉の向上を目指して、これからも地域を走り続けます。

問役場住民環境課環境地域安全係☎462・9963

お得な町営バス・ワゴンの回数券、定期券を販売

1 回数券

▼大人用（200円券）11枚つづり／2，000円

▼小学生以下用（100円券）11枚つづり／1，000円

対象者 町内在住の方

販売先 町内の各郵便局、役場会計課

2 定期券

▼1カ月定期／1，500円

▼3カ月定期／4，500円

対象者 町内在住の63歳以上の方、町内在住で障害者手帳をお持ちの方

販売先 役場住民環境課

※一般利用料（一律）は、大人200円、小学生以下100円です。

◉グリーンパーク吉峰、グリーンビュー立山の入浴料が割引

町営バス・ワゴン定期券の提示で、グリーンパーク吉峰とグリーンビュー立山の入浴料600円が500円になります。

安全で快適に乗降できるバスを導入

町は、4月に車いすの方もご利用できる新型バス1台を導入しました。ピンク色の車体には人や花のイラストが描かれていて、愛着が感じられる外観となっています。定員は33人乗りで、4月から伊勢屋線で運行しています。

乗降口は地上16㎝の低床で安全に乗り降りできるほか、車いす用のスロープも装備。また、信号待ちなどの停車時にエンジンを自動停止する機能を備え、二酸化炭素を含む排気ガスの排出を減らし地球温暖化防止に貢献しています。

愛称は、公募により「ここバス」に決まりました。ここバスは、comfortable（快適な）とcommunity（コミュニティ）の「co」を組み合わせたもので、「快適な地域社会で、ここからそこまで乗ってかれや」という意味が込められています。

車いすの乗降が可能なここバス

㊧吉峰線と北部循環支線を走る町営バス
㊨利田・大森線と新川・下段線を走る町営ワゴン

五百石駅停留所で伊勢屋線（伊勢屋行き）のここバスに乗り込む利用者の皆さん

運転免許証の返納者に無料パスを交付

町と町交通安全協会は、高齢運転者の交通事故抑止のため、満65歳以上で運転免許証を自主返納された方への支援を4月から行っています。

町交通安全協会は、免許証返納時に希望された運転者に交付する「運転経歴証明書」の取得費1，500円を助成します。運転経歴証明書の提示により、町が町営バス・ワゴンの3年分の無料パスを希望者に交付するほか、県内タクシー業者のタクシー料金が1割引になります。

※申請が必要となりますので、詳しくは左記へお問い合わせください。

問町交通安全協会
☎463・1222
問役場住民環境課
☎462・9963

➡広報たてやま3月号と一緒に全戸配布した「立山町営バス・ワゴン時刻表」。役場住民環境課にあるほか、町ホームページで確認することができます。

ホームページアドレス
http://www.town.tateyama.toyama.jp/bus/bus.html

Topics

お立ち寄り施設を紹介します

■越中陶の里 陶農館

吉峰線の陶農館前停留所を降りると、越中陶の里陶農館があります。町の伝統工芸品「越中瀬戸焼」の陶芸体験や販売を行っています。

■グリーンパーク吉峰

吉峰線や利田・大森線、新川・下段線の吉峰停留所を降りると、グリーンパーク吉峰があります。巨大岩に囲まれた解放感いっぱいの露天風呂で、心も身体もリフレッシュできます。

■常願寺ハイツ

利田・大森線の常願寺ハイツ停留所を降りると、常願寺ハイツがあります。温水プールやトレーニングジム、エクササイズのスタジオを設けています。

■町商工交流館 休んでかれや

五百石駅停留所を降りた近くに、町商工交流館休んでかれやがあります。利用者が飲食しながら休憩・交流できるスペースがあり、来館者が楽しんでいただける企画も用意しています。

■町埋蔵文化財センター

伊勢屋線の谷口停留所を降りた近くに、町埋蔵文化財センターがあります。町内の遺跡からの出土品や立山信仰に関する品の展示室、まが玉や土器作りの体験コーナーなどを設けています。

利用者の声

町営バス・ワゴンの回数券、定期券を利用している町民の皆さんに「どの路線、どのような用途で利用しているか」「町営バス・ワゴンの魅力」などを聞きました。

田嶋昭一さん、ミツ子さん夫婦（白岩）

3カ月定期券を購入し、伊勢屋線と吉峰線を利用しています。五百石駅周辺のスーパーや病院、役場などに行くほか、グリーンパーク吉峰で入浴を楽しんでいます。二人とも自動車の運転免許を持っていないので、町営バスは交通の足としてなくてはならないものです。

藤元さとみさん、木下里緒菜さん（雄山中2年）

11枚つづりの回数券を購入し、主に天候の悪い雨の日や冬場など、中学校から帰宅する際に北部循環支線を利用しています。私たちにとって車内は友達とのコミュニケーションの場です。勉強や部活動、趣味などの話題で盛り上がり、楽しい時間があっという間に過ぎます。

松久幸子さん（谷口）

1カ月定期券を購入し、伊勢屋線と吉峰線を利用しています。五百石駅周辺のスーパーや病院はもちろん、町内や富山市内での会合に行くときなどに活用しています。町営バスは動く身近なふれあいの場です。自分が住んでいる地域以外の人でも、何回か顔を合わせるうちに顔なじみになり、情報交換や世間話などで会話が弾みます。

INTERVIEW

毛利 圭輝くん（雄山中１年）

立山町でプロ野球の試合が行われることはうれしいことです。中学校で野球部に入部するか迷っている中で、選手のプレーを間近で見ることができていい刺激になりました。

山﨑 保さん、冷子さん夫妻（富山市）

チーム結成時から応援し、ホームゲームはほとんど観戦しています。立山球場は地元の雰囲気があふれていて、選手や観客と一体感が生まれることが魅力です。

高野野球スポーツ少年団の皆さん

バット引きやボール渡しを行いました。周りに迷惑を掛けないよう、てきぱき行動することを心掛けました。自分たちのプレーの参考にもなりました。

4.25 立山球場で富山サンダーバーズ公式戦

富山サンダーバーズの公式練習場の立山球場で4月25日、BCリーグ公式戦「富山サンダーバーズ対群馬ダイヤモンドペガサス」が行われました。

「サンダーバーズをおなか一杯にするおふくろの会」の高平喜代美会長の始球式で試合がスタートしました。チームは敗れましたが、観戦した約1，000人は最後まで熱い声援を送りました。

試合前には、おふくろの会の皆さんが手作りのタケノコごはんのおにぎりやコゴミゼンマイのサラダ、豚の角煮、豚汁をサンダーバーズの選手に振る舞いました。

また、球場ではスピードガンコンテストも行われ、竹腰晶都くん（高野小6年）が98キロをマークし、少年の部の新記録を出しました。

次回の立山球場でのサンダーバーズ公式戦は、9月18日㈯に新潟アルビレックスBCとの対戦を予定しています。

㊤懸命にプレーするサンダーバーズの選手
㊦楽器やメガホンを使って声援を送ります

5.12 小島さん、加藤さんが都市部へお米を寄贈

町地域おこし協力隊員の小島路生さん（広報たてやま5月号で紹介）、農業を営む加藤春夫さん（上瀬戸）が5月12日、昨年に加藤さんが収穫したお米300kgを横浜市内の若者自立就労支援の非営利組織「にこまる食堂」に寄贈しました。

加藤さんが「困っている方にお米を寄贈したい」と小島さんに相談したことがきっかけです。小島さんが都市部の友人や家族に連絡して受け入れ先を募った結果、ひきこもりや貧困の若者に職業訓練の機会を提供しているにこまる食堂への支援を決めました。

ミネラルウォーター製造・販売業「株式会社大観峯」の協力を得て11日に発送し、にこまる食堂には12日に到着しました。「お米を提供していただいた加藤さんには大変感謝しています。また、受け取った方に喜んでいただいて本当にうれしいです」と小島さんは笑顔を見せます。

小島さんは、今後も「こころのお米プロジェクト」として、お米を必要としている団体への支援を続けるということです。「都市部の貧困者支援と立山町の地域おこしに役立てたいと思います。5kgでも10kgでも構いませんので、皆さまの温かい『こころのお米』の協力をお願いいたします」と話しました。

寄贈した300kgの富山米コシヒカリ

◉お米を提供していただける方は下記までお問い合わせください。
問町地域おこし協力隊員(小島さん)
☎080－4357－7731
メールアドレス
michio_kojima@hotmail.com

町環境センター　剪定（せんてい）枝をチップ化します

町はこのほど、町環境センターに粉砕機（チッパシュレッダー）を設置し、住民の皆さんが持ち込んだ剪定枝をチップ化します。今まで燃えるごみとして出していた一般家庭の剪定枝を細かくチップ化することで、ごみの資源化や減量化に努めます。

長さ約1ｍに切った太さ18㎝未満の枝を直径約30㎝の束にして、町環境センターへ持ち込んでください。

チップはたい肥の原料のほか、庭に敷き詰めると雑草防止にも役立ちます。チップのみ提供することもできますので、気軽にお越しください。

日時　月～木曜日午前9時～午後4時（祝・祭日を除く）
場所　町環境センター（上金剛寺地内）
持ち込み料・チップ料　無料
問役場住民環境課☎462－9963

㊤町環境センターに設置した粉砕機
㊦投入すると、約2㎜の厚さのチップになります

町の家計簿

平成21年4月～平成22年3月の町の財政状況（平成22年3月31日現在）についてお知らせします。これは、町条例に基づき、年2回定期的に行うものです。

一般会計の歳出では予算額134億8，340万円のうち、106億7，843万円が支出済で、比率は79・2％となっています。なお、平成22年3月末時点での一時借入金額は3億円でした（平成22年5月末時点では0円）。

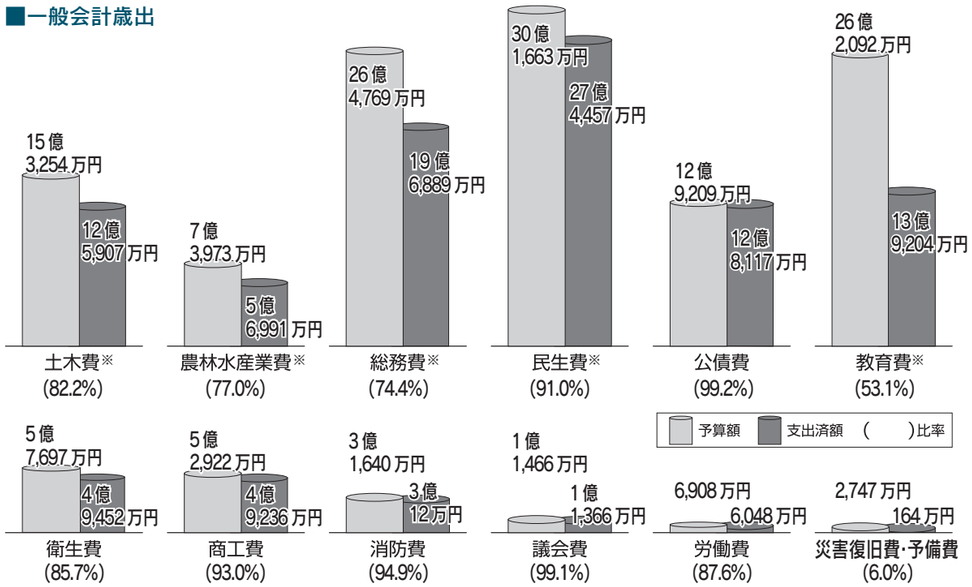
町会計は、歳入ともに5月末に金額が確定します（水道事業会計は除く）。

■一般会計歳入

区分	予算額	収入済額	比率
町税	31億3,386万円	30億7,197万円	98.0%
地方交付税	34億1,017万円	34億1,017万円	100.0%
分担金・負担金	2億4,799万円	2億2,591万円	91.1%
国・県支出金※1	30億6,336万円	20億1,654万円	65.8%
繰入金	1億8,994万円	1億8,894万円	99.5%
繰越金	3億5,818万円	3億5,818万円	100.0%
諸収入	5億3,872万円	4億7,237万円	87.7%
町債※2	18億9,040万円	6億7,210万円	35.6%
その他	6億5,078万円	6億5,570万円	100.8%
合計	134億8,340万円	110億7,188万円	82.1%

歳出・歳入とも平成20年度からの繰越事業費を含みます。
※1：国・県支出金の予算額のうち、約5億3,400万円は平成22年度へ繰越します。
※2：町債の予算額のうち、約9億3,700万円は平成22年度へ繰越します。

■一般会計歳出



※土木費予算額のうち約1億円、農林水産業費予算額のうち約1,600万円、総務費予算額のうち約5億2,700万円、民生費予算額のうち約800万円、教育費予算額のうち約11億3,400万円は平成22年度へ繰越します。

町有財産状況

- ▶土地・山林　3,257,125.74㎡
- ▶建物　120,973.13㎡
- ▶基金
  - 一般会計（H22.3.31現在）　17億9,965万円
  - 特別会計（H22.3.31現在）　2億1,332万円
- ▶有価証券等（H22.3.31現在）　8,119万円

地方債現在高		
	一般会計	108億5,751万円
	特別会計	20億8,172万円
	水道事業会計	21億7,902万円

■特別会計・水道事業会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	23億692万円	21億495万円	21億4,386万円
老人保健医療	941万円	872万円	114万円
後期高齢者医療	5億1,373万円	4億8,906万円	4億6,073万円
墓地公園	1,088万円	1,074万円	1,006万円
地域開発	110万円	0万円	0万円
農業集落排水	6億9,832万円	2億5,042万円	4億6,200万円
水道事業会計	9億6,608万円	6億6,540万円	7億2,757万円

平成22年3月31日現在、補助金などが未収入のため支出済額の方が大きい場合があります。

―立山黒部アルペンルート広域観光圏
観光庁の新観光圏に認定

立山町と長野県大町市にまたがる立山黒部アルペンルートを核とした「立山黒部アルペンルート広域観光圏」が4月28日、観光庁の観光圏に認定されました。

立山町、大町市、立山町観光協会、大町市観光協会、立山黒部貫光㈱、関西電力㈱、㈶立山グリーンパークの7団体でつくる協議会を2月に設立し、立山黒部アルペンルート広域観光圏整備計画を観光庁に申請しました。認定を受けて、❶質の高い山岳観光のサポート❷圏域内の地域資源の取り込み❸環境の維持・保全を両立する持続可能な滞在型の地域整備を、官民が協力して取り組みます。

4月30日には新潟県で観光圏の認定式が行われ、舟崎副町長が後藤靖子北陸信越運輸局長から認定書の交付を受けました。舟崎副町長は「立山黒部アルペンルートが多くの皆さんに楽しんでいただける滞在型観光地となるよう、7団体の持てる力をフルに発揮していきたい」と決意を述べました。

認定を受け、固い握手を交わす舟崎副町長と後藤局長（左）

―児童の安全確保と教育環境の向上を図ります
立山小学校屋内運動場が来年1月完成

立山小学校屋内運動場改築工事の起工式が4月28日、同小学校で行われました。

昭和50年に竣工した現在の屋内運動場は、老朽化が激しく、耐震性能も文部科学省の基準を下回っています。このため、町が文部科学省の「安全・安心な学校づくり交付金」を活用して改築し、児童の安全確保と教育環境の向上を図ります。

総事業費は約2億5，000万円で、鉄骨造平屋建て延べ面積約935㎡。ミニバスケットボールコート2面分（バレーボールコート1面またはバトミントンコート3面分）の広さを確保できるアリーナ、器具庫、災害時対応のトイレなどを設けます。

完成は、来年1月を予定しています。

立山小屋内運動場の完成イメージ図

長谷川さんが瑞宝双光章を受章
第14回危険業務従事者叙勲

「皇居宮殿で天皇陛下の拝謁を賜り、言葉にならないほどの感激を受けています」と受章の喜びを話す長谷川さん。戦後復興の一方で不安定な世相の中、治安の一翼を担おうと、昭和34年に富山県警察の巡査を拝命されました。

39年間にわたり、警察職務に精励し、主に刑事、交通部門で勤務。刑事部門では数多くの事件捜査の指揮を執りました。「『三日三晩寝なくても死なないぞ』と上司から言われ、夜を徹して仕事したこともあります。苦労の方が多かったですが、犯人検挙に結び付けたときは疲れが吹っ飛びました」。

交通部門では、自動車の増加が著しく交通死亡事故が増えた昭和40年代に「交通規制」「取り締まり」「安全指導」を3本柱とした事故防止策を進めました。「当時、年間200名にも上った死亡事故を減らそうと、警察や交通安全協会などの組織が一致団結し、粘り強く行動しました」と話します。

「都会に多発した凶悪犯罪は交通網の発達で広域化し、捜査が難しくなっています。地域住民の協力を大切にしながら地道に治安維持の仕事にあたってほしいです」と長谷川さんは後輩にメッセージを送ります。

現役を退いてからは、トレッキングや家庭菜園などを楽しんでいるほか、蔵本新区長や町観光ボランティアガイドなどを務めています。「支えてくれた皆さんに感謝し、地域のために頑張りたいです」と話しました。

長谷川（はせがわ） 信勝（のぶかつ）さん

昭和34年からの約39年間、県警察官として公共の安全と秩序の維持に尽力された。入善警察署長、新湊警察署長などを歴任し、警視正で退職。70歳。蔵本新在住

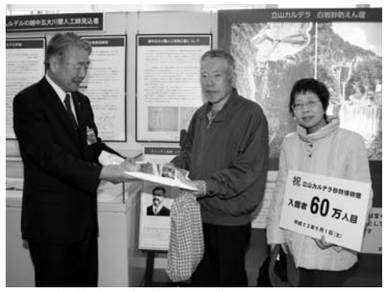
立山カルデラ砂防博物館
来館者数が60万人に

立山カルデラ砂防博物館の来館者数が4月30日、60万人に達しました。平成10年6月に開館した同館は、立山カルデラの自然や歴史、砂防事業について、展示や映像、現地見学などを通じて紹介しています。

なお、4月の来館者数は、例年より約7，000人多い1万294人で、過去最高となりました。

60万人目の山崎勇さん（石川県能美市）には、今井清隆館長からトロッコ模型や図録「常設展示総合解説」「越中立山大鳶崩れ」、DVD「立山砂防工事専用軌道のすべて」などが贈られたほか、山崎さん直筆の氏名プレートが館内入口に貼られました。

山崎さんは「立山黒部アルペンルート観光の途中に、妻と訪れました。自分が60万人目になるとは本当にラッキーです」とうれしそうに話してくれました。


今井館長（左）から記念品を受け取る山崎勇さん、美代子さん夫妻

立山自然ふれあい館
間伐材を使った遊具が完成

町産のスギの間伐材を使った遊具が5月7日、立山自然ふれあい館に完成しました。

県では、間伐材の中でも利用されることが少ない直径10㎝前後の丸棒の有効利用について検討しており、その実証実験の一つとして、今回の遊具の設置となりました。

遊具の名称は「迷サークル」。富山大学の丸谷芳正教授の指導のもと、丸棒200本を連ね、登ったりくぐったりして1周する迷路のようなデザインです。県では今後、耐久性能や利用上の注意点などを実証調査し、間伐材の利用推進につなげるということです。

立山自然ふれあい館長の筒井志朗さんは「子どもたちが木のぬくもりを感じながら、安心して楽しそうに遊んでいます」と喜んでいました。

バーベキュー広場近くに設置した遊具

寶田裕喜消防士長、林嘉和消防士、加藤優希消防士
町内で3人の救急救命士が誕生

町消防署の寶田裕喜消防士長、林嘉和消防士、加藤優希消防士が4月6日、救急救命士に登録されました。町内の救急救命士は13人です。

平成13年度採用の寶田さんは昨年9月から約7カ月間、救急救命東京研修所で訓練を受け、平成22年度採用の林さん、加藤さんは救急救命士の学校で学びました。3人は3月に行われた国家試験に合格し、病院研修を経て、救急救命士として現場で活動します。

心肺蘇生法や気道・静脈路確保、薬剤投与などの処置法を学んだ寶田さんは「救急車を呼ぶ人は皆不安に思っています。単に処置だけでなく『心のケア』も行い、安心感を与える救急救命士になりたいです」と抱負を話しました。林さん、加藤さんは「消防学校で心身ともに鍛え、1日も早く立派な救急救命士として活動したいです」と意気込みを話しました。

救急救命士に登録された（左から）加藤さん、寶田さん、林さん

県市町村選挙管理委員会連合会表彰
窪田さん、斉藤さんが受賞

長年にわたり町選挙管理委員会で、献身的に職務を遂行し選挙啓発に功労があった窪田武志さん（寺田）、斉藤淑子さん（大石原）が4月28日、「県市町村選挙管理委員会連合会表彰」を受賞しました。

窪田さんは平成15年4月に町選挙管理委員に就任し、平成17年4月に委員長職務代理、平成18年1月に委員長を務めました。「支えてくれた皆さんのおかげの受賞です。近年、投票率が低くなっていますが、選挙権は大切な権利であり大切な一票を投じていただきたいです」と話しました。

斉藤さんは、平成15年4月に町選挙管理委員に就任し、平成18年1月に委員長職務代理を務めました。「光栄なことです。自身の選挙に対する意識や理解も深まっています」と受賞の喜びを話しました。

窪田武志さん

斉藤淑子さん

自然を大切にする心を
鳥の巣箱作り、しいたけの菌打ちを体験

立山花とみどりの少年団員（立山、釜ヶ渕、新瀬戸小学校 5･6 年児童 92 人）が 4 月 27 日、グリーンパーク吉峰で鳥の巣箱作りやシイタケの菌打ちなどを体験しました。

スギの木を使った鳥の巣箱作りでは、釜ヶ渕小児童が、金づちを使ってくぎを板に丁寧に打ち付け組み立てました。巣箱は学校林に据え付ける計画で、石田龍二くん（6 年）は「たくさんのツバメやスズメなどに来てもらって、気持ちよく住んでほしいです」と期待を込めていました。

この後、参加者全員でシイタケの菌打ちを体験。立山山麓森林組合職員から手順を教わりながら、ドリルで原木に穴を開け、シイタケ菌がついた種駒を打ち込みました。木は児童の自宅で栽培し、来年秋の収穫を迎える予定です。滝沢小粋さん（立山小 6 年）は「ドリルで垂直に穴をあけるところが大変でした。早くシイタケを焼いて食べたいです」と話してくれました。

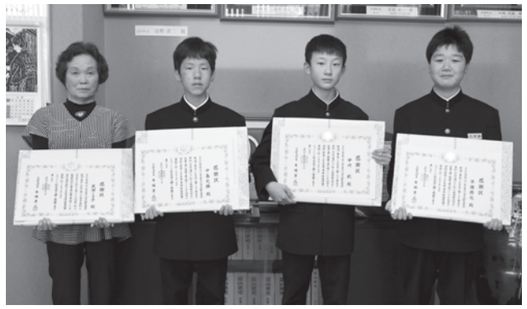
1 巣箱の組み立て 2 ドリルでの穴あけを真剣な表情で取り組む児童 3 立山小・新瀬戸小児童は、県富山農林振興センター職員から森林の生態について学びました

民家火災を未然に防ぐ
勇気ある行動をした町民に感謝状

町消防署は 5 月 17 日、民家の火災を未然に防いだ町民に感謝状を贈呈しました。

5 月 10 日午後 6 時ごろ、町民体育館でバドミントンの部活動を終えて帰宅途中の中島光輝くん、中川航くん、早瀬修也くん（雄山中 2 年）が五百石地内の民家の塀越しに黒煙と赤い炎を発見。「火が出ている。火事だ」と大声で叫び、近所の大人に知らせました。騒ぎを聞いた武田ミヨ子さん、内田雅士（まさひと）さん（五百石）が連携して町消防署へ素早く通報した結果、民家火災に至ることなく異常燃焼した石油給湯機 1 台の焼損で済みました。

役場で行われた贈呈式には、中学生 3 人と武田さんが出席し、舟橋町消防長が「見て見ぬ振りをせず、勇気を持って火災を未然に防いでくれてありがたい」とたたえました。中学生は「びっくりしたけど大きな火事にならずよかったです」と話し、武田さんは「勇気を持って声を上げた子どもたちに感謝しています」と笑顔で話してくれました。



（左から）武田さん、中島くん、中川くん、早瀬くん

自己ベストを目指して
第 93 回立山区域小学校連合体育大会

第 93 回立山区域小学校連合体育大会が 5 月 18 日、町総合公園多目的グラウンドで開催されました。出場した町内と舟橋村の小学 5・6 年生児童 610 人が、自己ベストを目指して競技に臨みました。

今回、5･6 年男子 100 m走、5･6 年男女 50 mハードル走、5 年女子ソフトボール投げで大会新記録が生まれました。このうち、6 年男子 100 m走では松嶋慎也くん（日中上野小 6 年）が、これまでのタイムを 0 秒 39 縮める 13 秒 31 で優勝しました。松嶋くんは昨年の 5 年男子 100 m走に続いての大会新記録で「踏み出しを大きくする、手を真っすぐ振ることを心掛けました。まさか新記録が出るとは思っていなかったので、本当にうれしいです」と喜んでいました。

真剣な表情で競技に取り組む児童に
（右下）熱い声援を送る観客

まちの身近な話題をレポート

カメラルポ

東谷地区特産の山ウドはいかが
山ウド観光菜園が開園

東谷地内にある「山ウド観光菜園」が 4 月 28 日から 5 月 5 日まで開園しました。東谷地区ウド生産組合が、平成 9 年から白岩川ダム西側にある斜面約 1 万㎡を使って、山ウドを栽培しています。平成 11 年からは、地域の活性化を図ろうと、観光菜園として住民に有料開放しています。

27 日の開園式では、出席した関係者がかまを手に斜面に上って試し採りしました。この後、東谷地区の皆さんが作った山ウドの天ぷらや酢の物、みそ汁をはじめ、地元で採れた新大正もちの金時おこわなどが振る舞われました。

一人 1,000 円の入園料で 15 本の山ウドが採取できる観光菜園には期間中、約 530 人が訪れました。上田義一組合長（白岩）は「今年の山ウドはいつもより小振りでしたが、柔らかくて味もよかったです。大勢の方が訪れ、採取を楽しんでいただけたと思います」と感想を話してくれました。

1 春の香りを感じながら試し採りする関係者の皆さん
2 味覚の王様とも呼ばれる山ウド。あえ物や煮物として味わうこともできます
3 振る舞われた山ウドの葉を揚げた天ぷら。サクサクとした食感が好評でした

二つの滝は迫力満点
称名滝への遊歩道が開通

日本一の落差 350 m を誇る称名滝への遊歩道が、冬期間の閉鎖を終えて 4 月 30 日に開通しました。

称名平で行われた安全祈願祭では、押田健町観光協会副会長が「多くの皆さんが称名滝を訪れ感動していただけるよう、魅力を積極的にＰＲしていきます」とあいさつしました。

平成 2 年に「日本の滝百選」、平成 8 年に「日本の音風景 100 選」に選ばれた称名滝。昨年公開した映画「劔岳　点の記」で、柴崎芳太郎と宇治長次郎が劔岳に三角点を設置するため、周辺の山々から予備調査を開始した場面としても撮影されました。また、雪解け水が多く流れ込む春には、称名滝の右側にハンノキ滝が現れ、Ｖ字を描く滝の流れを見ることができます。

ゴールデンウィーク中の 5 月 5 日は好天に恵まれ、県内外から大勢の観光客が訪れました。新潟市から家族で訪れた宮下敏清さんは「二つの滝は迫力満点。水しぶきが涼感を誘ってくれて、本当に気持ちよかったです」と笑顔を見せていました。

称名橋から迫力ある称名滝とハンノキ滝（右）を望む観光客

保健だより

問い合わせ先
町保健センター☎463－0618

●藤田 みひろちゃん（1歳5カ月）
これからも元気に明るくね。
パパ 一博 ママ みどり

●住田 高晟（こうせい）くん（1歳6カ月）
強く優しくたくましく育ってね！
パパ 泰堂 ママ かおる

■ ６月から特定健康診査が始まります

メタボリックシンドロームに着目した健康診査が６月から始まります。対象者には「健康診査受診券」が届きますので受診してください。

◉特定健康診査

実施期間　６月１日㈫～ 10 月 30 日㈯
対象者　昭和 10 年９月１日～昭和 46 年３月 31 日生まれで、町内在住の町国民健康保険加入者（日帰りドックや脳ドックを受ける方は、町内の指定医療機関で受診できません）
健診項目　身長、体重、腹囲測定、血液検査など
健診料　500 円（追加検査や治療の必要な場合は別に個人負担があります）
健診機関　町内の指定医療機関（尾崎眼科クリニック、植野耳鼻咽喉科医院を除く）

◉後期高齢者健康診査

対象者　平成 22 年４月以降、75 歳以上の方（昭和 10 年４月 30 日以前に生まれた方）　**健診料**　無料
※実施期間、健診項目、健診機関は「特定健康診査」と同じです。

◉昭和 10 年５月１日～昭和 10 年８月 31 日生まれの方　９月上旬にご案内しますので、受診券が届いてから受けてください。

■ 献血（全血献血）のご案内

日時　６月４日㈮ 12：30 ～ 16：30
場所　役場前

■ 健康づくりボランティア養成講座・公開講座

日時　７月 16 日㈮午前 10 時～午前 11 時 30 分
（受付：午前９時 45 分～）
演題　（仮）心の健康
講師　臨床心理士　中塩 真巳さん
場所　町保健センター

■ 麻しん・風しん混合ワクチンの予防接種のお知らせ

第２期対象者（年長児）・第４期対象者（高校３年生）は、推奨期間の６月 30 日㈬までに接種を受けましょう。また、第１期対象者（1 歳児）も、1 歳の誕生日を迎えたらすぐに接種を受けてください。

第３期対象者（中学１年生）は、雄山中学校で集団接種（町外の中学校に通学中の生徒は個別通知します）を行います。

■ 小児の定期予防接種の広域化について

小児の定期予防接種は、６月１日㈫から県内全市町村の協力医療機関で受けることが可能となります。町では接種歴や接種医療機関の確認を行いますので、町外で接種を希望される方は、接種前に町保健センターにご連絡ください。

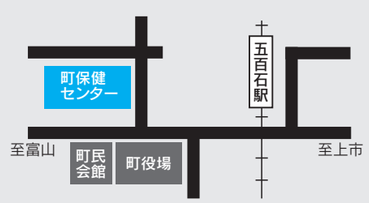
■ ６月から藤木病院に皮膚科が開設

６月から藤木病院に皮膚科が開設されました。診察日時は、月・水・金曜日の午前９時～正午です。
問藤木病院☎ 463－1301

健康づくり教室

項目区分	実施月日	受付時間	ところ	備考
はつらつ健康体操	6月　7日（月） 6月 21日（月） 7月 12日（月）	9：30～10：00	町保健センター ○参加希望の方は町保健センターにご連絡ください。	○対象者：会員制 ○内　容：リズム体操、生命の貯蓄体操

［町保健センター案内図］



アルプス農協たてやま支店（旧五百石支店）駐車場は使用禁止になっています。お子さんの健診やがん検診などに車でお越しの際は、役場（町民会館前）駐車場をご利用ください。
■問い合わせ先
町保健センター
☎ 463－0618

６月の日曜救急医療当番医

６日	五百石整形外科医院	☎462－0001
13 日	黒田内科医院	☎463－0006
20 日	内科酒井医院	☎463－1567
27 日	かとうこどもクリニック	☎462－1113
⑦4 日	金木クリニック	☎463－0066

受付：午前９時～午後５時。当日の往診および緊急以外の受診はご遠慮ください。

母子保健

対象地区：全地区　ところ：町保健センター　持参するもの：母子健康手帳、フッ素塗布希望の方は歯ブラシ

項目区分	実施月日	受付時間	対象者	備考
ベビママ相談	6月　2日（水）	13：00 ～13：30	平成21年11・12月生まれ 母乳相談のある方は要予約	内科健診（小児科）、栄養指導（栄養士）、子育て相談・身体発達相談（保健師）、母乳相談（助産師）
1歳6か月児健診	6月 10日（木） 7月　8日（木）	13：00 ～13：30	平成20年12月生まれ 平成21年1月生まれ	内科・歯科健診、フッ素塗布（希望者）、栄養指導、保健指導、子育て相談(臨床心理士)
むし歯予防教室	6月 16日（水）	13：00 ～13：30	平成20年6月生まれ	①むし歯予防の日常生活 ②正しい歯のみがき方 ③フッ素塗布（歯ブラシをお持ちください）
3歳児健診	6月 17日（木）	13：00 ～13：30	平成19年2月生まれ	内科・歯科・耳鼻咽喉科健診、尿検査、栄養指導、保健指導、必要に応じて視力検査、子育て相談（臨床心理士）
パパママ教室	6月 19日（土）	9：00 ～ 9：15	平成22年7～9月に第一子出産予定の夫婦	ビデオ学習、お産の知識と準備、パパの育児参加について、赤ちゃんの抱き方、沐浴体験など(要予約)
４か月児健診	6月22日（火）	13：00 ～13：30	平成22年2月生まれ	内科健診、離乳食指導、保健指導

健康診査・健康相談

※検診結果の一部は、受診者だけでなく町にも返送されます。これは健康管理業務での使用のためであり、他の目的で使用することはありません。

項目区分	実施月日	受付時間	ところ	備考
一般健診	6月 23日（水）	13：00 ～ 13：45	町保健センター	○対象者：39 歳以下（予約制）　自己負担金：500 円 ○内　容：健診、検尿、血液検査、血圧測定、栄養・保健指導
骨粗鬆症検診	6月 23日（水） 6月 27日（日）	13：00 ～ 14：00 9：30 ～ 10：30	町保健センター	○対象者：70 歳以下の女性　自己負担金：500 円 節目該当者は無料 ○内　容：超音波法による骨密度測定および保健指導
胸部レントゲン（結核・肺がん）	6月　9日（水）	9：15 ～ 10：30	釜ヶ渕公民館	○対象者：**40 ～ 64 歳**　・・・肺がん検診 **65 歳以上**　・・・結核検診・肺がん検診 ○検診結果は精密検査が必要な方にのみ通知します。受診後約１カ月が経過しても通知がない場合は、精密検査の必要はありません。 ※病院や職場などで胸部レントゲン撮影を受けた方は町保健センターへご連絡ください。
		10：45 ～ 11：30	米道公民館	
		13：30 ～ 14：00	野村公民館	
		14：15 ～ 14：45	末三賀西部公民館	
		15：00 ～ 15：30	沢中山公民館	
	6月 24日（木）	9：30 ～ 11：00	大森公民館	
		11：15 ～ 11：45	三ツ塚新公民館	
		13：30 ～ 14：45	大日町公民館	
		15：00 ～ 15：30	半屋公民館	
	6月 27日（日）	8：30 ～ 10：30	町保健センター	
	7月　5日（月）	8：30 ～ 10：00	町保健センター	
	7月　6日（火）	13：30 ～ 14：00	四谷尾公民館	
		14：15 ～ 14：45	谷口公民館	
		15：00 ～ 15：30	白岩公民館	
胃・子宮・乳房がん検診	6月　4日（金）	8：30 ～ 9：30	町保健センター	○対象者　胃・大腸・乳房がん検診・・・40 歳以上 子宮がん検診　・・・20 歳以上 ※ 40 歳未満の方でもがん検診を希望される方は集団検診で受診できます。 ○**がん検診は定員がありますから、事前のお申し込みが必要です。**町保健センターまでご連絡ください。 ○胃、子宮、乳房がん検診はそれぞれ 500 円の自己負担金がかかります。ただし、節目検診、クーポン検診該当の方は無料です。 ○検診結果は、約１カ月後に富山県健康増進センターから個人通知されます。 ○大腸がん検診には容器が必要です。検診日の５日前までに町保健センターまたは地区の胸部レントゲン会場でお受け取りください。 ○大腸がん検診は無料です。
	6月 17日（木）		釜ヶ渕公民館	
	6月 27日（日）		町保健センター	
	7月　1日（木）		大森公民館	
	7月　5日（月）		町保健センター	
大腸がん検診提出日	6月　4日（金）	8：30 ～ 9：30	町保健センター	
	6月 10日（木）		町保健センター	
	6月 17日（木）		釜ヶ渕公民館	
	7月　1日（木）		大森公民館	
	7月　5日（月）		町保健センター	

※がん検診の個人通知は 74 歳以下の方に行っていますが、通知のない方でも受診できます。ご希望の方は、町保健センターへお申し込みください。

Event Information

■町商工交流館「休んでかれや」のイベント

1 つきいちサロンパッチワーク展
日時　6月1日㈫～11日㈮午前9時～午後5時
2 立山陶友会作品展
日時　6月14日㈪～20日㈰午前9時～午後5時
3 和紙ちぎり絵展
日時　6月23日㈬～7月7日㈬午前9時～午後5時
問町商工交流館「休んでかれや」☎464－1770

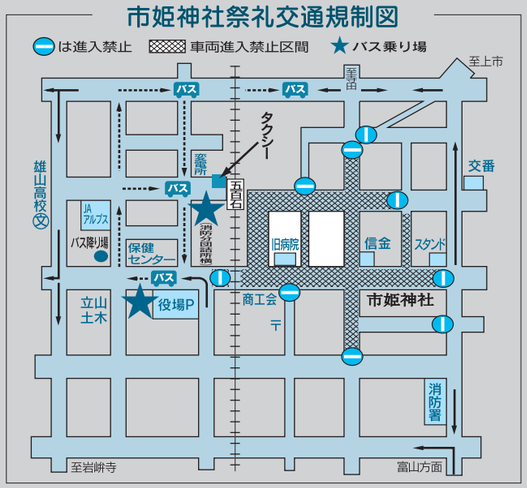
■立山町民ウォークラリー2010

日時　6月5日㈯午前10時～※雨天決行
集合場所　グリンパルよしみね　◉町教育委員会後援
持ち物　弁当、飲み物、タオル、雨具
問町中央体育センター☎463－5077

■第4回虹のコンサート

日時　6月5日㈯午後2時～（午後1時30分開場）
場所　町民会館大ホール
出演　混声合唱団「コロ パストラーレ」
内容　▶第1ステージ／TOKYO物語
▶第2ステージ／フィンランディア、手紙 ほか
▶第3ステージ／村上麻里さんによるピアノ演奏
▶第4ステージ／混声合唱団組曲「山に祈る」
◉町、町教育委員会後援
チケットの販売　町民会館☎463－3535

■市姫神社祭礼 交通規制



規制期間　6月11日㈮正午～13日㈰午後5時
※町営バス、地鉄バス、タクシー乗り場は駅西側になります。駅西側のバスとタクシーは ⇢ のように巡回しますので、周辺道路への駐車はご遠慮ください。
問役場総務課行政係☎462－9965

■認知症家族介護者の集い

いろいろな介護サービスについて説明します。気軽に参加してください。
日時　6月24日㈭午前10時～午前11時
場所　町民会館1階 第1会議室
申込方法　❶参加者氏名❷住所❸電話番号を電話でお知らせください。
問町地域包括支援センター☎462－9088

■立山夏山開き「立山・称名滝の祭典」

日時　6月26日㈯午前9時～
場所　地鉄立山駅前広場
イベント内容
▶立山登山・称名滝往来安全祈願式▶幼稚園児によるくす玉割り▶立山権現太鼓、立山の舞、クラシック音楽演奏、長野県大町市の郷土芸能▶立山山岳・称名滝ポスター無料配布（60枚）▶記念品（立山の名水）贈呈、振る舞い酒▶材木坂登山イベント（30%運賃割引）▶称名滝探勝バス運賃割引（終日）▶幼稚園児招待（室堂）▶町内の地鉄各駅～室堂往復優待（町民200人、参加費2,500円）
問立山夏山開き「立山・称名滝の祭典」実行委員会
☎462－9971

■家族介護者の集い

日時　6月30日㈬午前9時30分（町民会館前出発）～午後3時30分（町民会館到着予定）
場所　庄川温泉 三楽園（砺波市）
内容　瑞泉寺拝観、情報交換、介護・健康相談
対象者　町内在住で高齢者を家庭で介護している方
定員　20人（応募者多数の場合は抽選）
参加費　1,000円
申込締切　6月18日㈮
問町社会福祉協議会☎463－3356

■第16回立山町美術展 出品募集

美術展の募集要項ならびに出品申込書は、6月21日㈪から教育課と各地区公民館に配置します。
■一般の部
部門　絵画、工芸、書、写真　　**主題**　自由
応募資格　町内在住者および在勤者、または町出身者（高校生以上のアマチュアに限る）
■ジュニアの部
部門　絵画、工芸、書、写真　　**主題**　自由
応募資格　町内の児童・生徒
申し込み、作品搬入日時
8月30日㈪午後2時～午後5時
問役場教育課文化体育係☎462－9983

みんなの税　かわらばん

■65歳未満で公的年金等の所得のある方の町・県民税の納付方法が変わります

地方税法の改正に伴い、平成22年4月1日現在65歳未満で、町・県民税の納付方法が次の❶❷に該当する方は、平成22年度から原則として給与からの引き落としに戻ります。
❶平成20年度まで／給与・公的年金等所得分の町・県民税は給与からの引き落とし
❷平成21年度／給与所得分は給与からの引き落とし、公的年金等所得分は普通徴収（納付書や口座振替による納付）
※65歳以上の方の納付方法は、平成21年度と同様に公的年金からの引き落としとなります。
詳しくは、住民税係へお問い合わせください。
問役場税務課住民税係
☎462・9952

■6月の納税
▼町県民税（1期）
納期限　6月30日㈬
問役場税務課住民税係
☎462・9952

年金だより

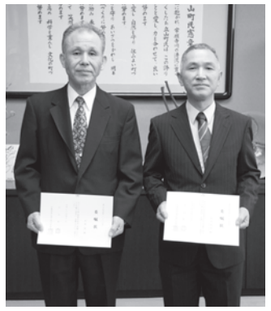
■平成22年度の年金額

平成22年度の老齢基礎年金額は、平成21年度と同額（年額79万2,100円）です。
特別障害給付金は、1級が月額5万円、2級が月額4万円に改定されます。

■国民年金に任意加入する方の保険料納付は原則、口座振替で

老齢基礎年金を満額受給するためには、保険料を20歳から60歳まで40年間納めなければなりません。
しかし、昭和61年3月以前の会社員（厚生年金、共済組合加入者）などに扶養されている配偶者、平成3年3月以前の学生は、国民年金の加入が任意であったため、この間の国民年金に未加入の方は、満額の年金を受給できません。
60歳から65歳になるまでの間、国民年金に任意加入することで受け取る老齢基礎年金を満額に近づけることができます。年金受給資格（原則25年）を満たしていない方も同様に任意加入することができます。
※任意加入される方の保険料の納入は、特別な理由がない限り、口座振替で行っていただくことになりました。
問魚津年金事務所
☎0765・24・1494

町自衛官募集相談員
長岡進さん、増田光正さんに委嘱状



町と自衛隊富山地方協力本部は4月22日、町自衛官募集相談員に長岡進さん（浦田）、増田光正さん（草野）を委嘱しました。長岡さんは再任、増田さんは新任となり、任期は平成22年4月からの2年間です。
募集相談員は、自衛官を希望する人の相談に乗って仕事を紹介することが主な役割です。
鵜居（うい）正行自衛隊富山地方協力本部長は「少子化の影響により人員確保が困難な中で、高い志を持った優秀な人材が入隊することを切望しています。ご協力をお願いいたします」と激励。長岡さんと増田さんは「かつて自衛官として経験したことを次の世代に伝えることが私たちの使命だと思っています。若者との懸け橋になり、一人でも多くの人材を確保・育成していきたいです」と抱負を述べました。

Information

図書館おすすめ ザ 一冊

■僕たちのプレイボール（鬼塚 忠）

元メジャーリーガーを父に持つ少年が、日本の少年野球チームの中で壁にぶつかりながらも、仲間とリトルリーグ世界大会を目指して成長していく人間ドラマです。

■新着・新刊図書

▶おじさんとおばさん（平 安寿子）▶賜物ウラジミール・ナボコフ（沼野 充義 訳）▶男の背骨（山本 一力）▶京都駅0番ホームの危険な乗客たち（西村 京太郎）▶やすらい花（古井 由吉）▶四季のことば辞典（西谷 裕子 編）▶春の小夜（松本 侑子）▶もし大作曲家と友だちになれたら・・・（スティーン・イッサーリス 著、板倉 克子 訳）▶続・もし大作曲家と友だちになれたら・・・（スティーン・イッサーリス 著、板倉 克子 訳）▶王剣強奪（関 裕二）▶勉強しなければだいじょうぶ（五味 太郎）

■6月の休館日
7日㈪、14日㈪、21日㈪、24日㈭、28日㈪
問立山図書館☎463－0634

介護保険アレコレ

■介護保険負担限度額認定申請の更新について

介護保険施設入所などの施設サービス（ショートステイを含む）を利用したときは、1割の介護サービス費用のほか、食費と居住費がかかります。所得の低い方は、食費と居住費について負担が低く抑えられています。
現在お持ちの「介護保険負担限度額認定証」の有効期間は平成22年6月30日㈬までとなっています。継続して軽減を受けるには、中新川広域行政事務組合介護保険課へ申請が必要です（新規の方を含む）。申請後、該当者に認定証を郵送します。
負担限度額の認定は、申請月の初日からとなりますのでご注意ください。適用期間は平成23年6月30日までです。

■6月の保険料（65歳以上の方）
▶特別徴収・・・第2期（6月の公的年金支払い時に引き落とし）
▶普通徴収・・・ありません（今年度の納期開始は7月です。前年度分での納め忘れがないかご確認ください）
問中新川広域行政事務組合介護保険課
（舟橋村国重242）☎464－1316

くらしの情報

■年金相談の日程

日時　6月1日㈫、7月6日㈫
受付時間
　午前10時～午後2時30分
場所　町民会館
※年金手帳・年金証書・印鑑・預金通帳などをお持ちください。
※代理の方は、相談依頼状が必要です。
※混雑時はお待ちいただくことがあります。
問役場住民環境課住民係
☎462－9962

■町犯罪発生状況（1～4月）

13件【前年比－19件】

■町の人口

平成22年5月1日現在

人口	27,795	人	（－143）
男性	13,347	人	（－67）
女性	14,448	人	（－76）
世帯数	8,983	世帯	（＋59）

（　）内は前年比

平成22年4月の人の動き

出生	16人	転入	59人
死亡	23人	転出	42人

緊急雇用創出事業に伴う臨時職員を募集

■職種　公共施設環境整備員
業務内容　公園・道路など公共施設の環境整備、環境美化
募集人員　2名
応募資格
　応募時に失業されている方
応募方法　役場商工観光課にある提出書類に必要事項を記入し、6月11日㈮までに提出
任期　平成22年7月1日～平成22年12月28日
問役場商工観光課商工労働係
☎462・9970

6月から役場の開庁時間が変わります

　国や県の制度改正に伴い、6月1日から開庁時間が次のとおりになります。
開庁時間　午前8時30分～午後5時15分
※月曜日の延長窓口は、従来どおり午後6時30分までです。
問役場総務課秘書人事係
☎462・9964

未来へのはじめの一歩は 国勢調査

　10月1日に行われる国勢調査に向け、5月1日に平成22年国勢調査立山町実施本部を設置しました。
　国勢調査は、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要なものです。
　調査結果は、地方交付税の算定基準や福祉政策、生活環境整備、防災対策など、さまざまな施策の実施や計画の基礎になります。住みよいまちづくりのため、ご理解をお願いいたします。

総務省統計局ホームページ
http://www.stat.go.jp/
※町では、登録調査員を募集しています。業務内容や応募方法など、詳しくは左記までお問い合わせください。
問役場企画政策課広報調査係
☎462・9968

6月町議会定例会日程

▼8日㈫午前10時～
　本会議（提案理由の説明）
▼15日㈫午前10時～
　本会議（一般質問・質疑、議案等の委員会付託）
▼16日㈬午前9時～
　総務教育常任委員会
▼17日㈭午前9時～
　産業厚生常任委員会
▼21日㈪午後1時30分～
　本会議（委員長報告、討論、採決）
問役場議会事務局
☎462・9984

6月の子育て支援

■西部児童館
　未就園児と家族が自由に過ごせる「つどいの広場室」です。
日時　月曜日、水～日曜日の午前10時～午後5時
※火曜日、祝日はお休みです。
イベント内容　▼月曜日／絵本の読み聞かせやリズム遊び▼水曜日／赤ちゃん広場（乳児対象）▼木曜日／ちびっこ広場
問西部児童館
☎463・0622

■高原保育園
▼1日㈫／「園庭で遊ぼう！」砂遊び、遊具遊び▼8日㈫／「サーキット遊びに挑戦！」体を動かして元気よく遊ぼう！▼15日㈫／「歌や手遊び楽しいな」体をこちょこちょ♪おててパチパチ▼22日㈫／「みんなでおしゃべり②」お話すると楽しいな▼26日㈯／パパ参加プログラム　親子で散歩☆元気に体を動かそう！
問高原保育園
☎463・1430

■みどりの森保育園
▼3日㈭／「心にタッチ・体にタッチ①」ベビーマッサージをしてみよう！▼10日㈭／「園庭で遊ぼう」シャボン玉をとばそう！▼17日㈭／「ちょこっとリフレッシュ！」リラックス体操▼24日㈭／「こんなことしりたいな～」主任保育士との話　排泄について
問みどりの森保育園
☎462・2248

■あおぞら保育園
▼2日㈬／正しい歯磨きの仕方（歯ブラシ持参）▼9日㈬／保健師と話しましょう　身体計測▼23日㈬／フラワーアレンジメント▼30日㈬／七夕飾りをつくろう
問あおぞら保育園
☎463・0061

■むつみ幼稚園
▼17日㈭／一緒に楽しく遊びましょう。
問むつみ幼稚園
☎462・1570

金婚をお祝いします

　町では、福祉のつどいで、結婚50周年を迎えるご夫婦をお祝いしています。該当される方は役場健康福祉課で登録手続をお願いします。
開催月　10月（予定）
対象者　昭和34年9月16日～35年9月15日に婚姻届を出された町内在住のご夫婦
問役場健康福祉課社会福祉係
☎462・9954

ライターによる子どもの火遊びに注意を

　近年の子どもの火遊びによる火災のうち、ライターが原因であるものが半数以上にのぼり、5歳未満の死傷者発生率が高いことも確認されています。
　このような火災を起こさないためにも、次のことに十分注意してください。
▼子どもの手の届くところにライターを置かない。▼子どもにライターを触らせない。▼子どもがライターで火遊びをしているのを見掛けたら、すぐに注意してやめさせる。
問町消防本部
☎463・0005

デジサポ富山電話受信相談窓口を開設

　地上デジタル放送に関する質問にお応えします。
開設日時　▼平日／午前9時～午後9時▼土・日曜日、祝日／午前9時～午後6時
問県テレビ受信者支援センター
☎403・0101

地デジ放送受信を支援

　国では、経済的な理由などで地上デジタル放送を見ることができない世帯に対し、簡易なチューナーの無償給付などの支援を行っています。
支援対象者　NHKの受信料が全額免除されていて、次の❶～❸いずれかに該当する世帯
❶生活保護などの公的扶助を受けている世帯❷町民税が非課税となる障害者の世帯❸社会福祉事業施設に入所されている方
受付期限　7月2日㈮
問地デジチューナー支援実施センター
☎0570・03・3840

水道に 寄せる信頼 飲む安心

　6月1日㈫～7日㈪は「水道週間」です。水の大切さを認識し、無駄にせず有効に使いましょう。
問役場水道課上水道管理係
☎462・9959

1日の始まりは食事から

　6月は「食育月間」です。栄養が偏った食事を摂っていませんか？「食事バランスガイド」「食生活指針」を参考に、健康的な食事を心掛けてください。
問富山農政事務所
☎441・9309

県青年議会青年議員を募集

対象者　町在住の18～40歳の方
日程（予定）　▼7月16日㈮／開会式、組織議会など▼9月4日㈯／学習会▼10月29日㈮／本会議、閉会式
応募締切　6月15日㈫
問役場教育課生涯学習係
☎462・9982

常願寺ハイツからのお知らせ

　常願寺ハイツ改装前（平成18年9月以前）の回数券をお持ちですか。改装前の回数券は使用できませんので、未使用分については払い戻しをします。常願寺ハイツまで持参ください。
※休館日は毎週火曜日です。
問常願寺ハイツ
☎462・1164

古紙回収日の変更

　広報たてやま4月号で紹介した「平成22年度古紙回収予定日」で、高野小PTAの実施日7月11日㈰が6月27日㈰に変更となりました。
問役場住民環境課環境地域安全係
☎462・9963

子ども手当、児童手当のお知らせ

■子ども手当の現況届の提出を
　子ども手当を受けている方は、毎年6月に「現況届」を提出する必要があります。対象者には6月中旬に案内を郵送します。現況届の提出がない場合は、6月分以降の手当を受けられなくなりますのでご注意ください。
※4～5月に新規に認定請求された方は、現況届の提出は不要です。
提出期限　6月30日㈬　**提出先**　健康福祉課児童福祉係
提出書類　❶子ども手当現況届
　❷健康保険証の写し（受給者と子どもの両方）
■子ども手当の休日・延長窓口のお知らせ
▶休日窓口／6月27日㈰午前8時30分～午後5時15分
▶延長窓口／6月28日㈪～6月30日㈬
　午後5時15分～午後6時30分
■児童手当・子ども手当の振り込みについて
　6月は、2～5月分の手当の支給月です。児童手当から子ども手当への制度移行に伴い、6月の支給に限り、児童手当（2、3月分）と子ども手当（4、5月分）を別々に振り込みます。ゆうちょ銀行への振り込みが可能となりました。次回以降に振り込みを希望される方は、窓口で手続きをお願いします（受給者名義の口座に限ります）。
振込日　▶児童手当／6月8日㈬▶子ども手当／6月10日㈭
問役場健康福祉課児童福祉係☎462－9955

高橋行政相談委員に感謝状

　町行政相談委員の高橋光邦さん（末三賀）に5月14日、総務省富山行政評価事務所から感謝状が贈られました。高橋さんは、平成19年度から町行政相談委員を務め、国の行政全般にかかわる手続きやサービスなどの相談の解決に尽力されています。「今後も相談相手の視点に立ったアドバイスや情報提供に努めていきます」と話しました。

広報たてやま
編集と発行／富山県中新川郡立山町
広報たてやま　平成22年6月号　通巻678号（毎月1回1日発行）　昭和29年1月10日第1号発行
〒930−0292富山県中新川郡立山町前沢2440番地
☎076−463−1121　FAX 076−463−1254

きらり立山人（たてやまびと）

第2回　平成22年春の叙勲受章者
青木　正さん（旭日双光章）
松村健一さん（瑞宝双光章）

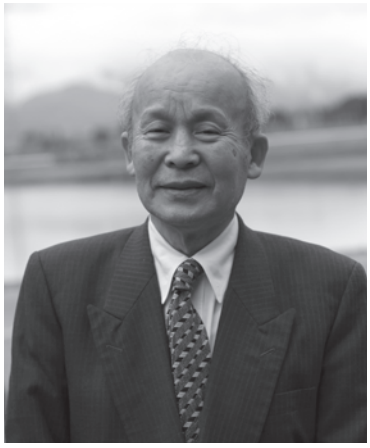
青木 正（あおき ただし）さん

昭和50年から現在に至るまで、町商工会（現在は立山舟橋商工会）役員として、商工業の振興に尽力された。立山舟橋商工会長、県商工会連合会理事。77歳。前沢在住

医薬品販売業許可を取得し、8年間にわたり富山市内の商店で家庭薬卸のノウハウを学んだ青木さんは昭和34年、富山市から町内へ移住し、前沢地内で医薬品販売業を創業しました。「自分で切り開いた道で大変なこともありましたが、立山町民の皆さんは、みんな親切で人柄がよかったです。立山町に住んでよかったと本当に思っています」と振り返ります。

経営の傍ら、昭和35年に町商工会に入会しました。主な取り組みとして、平成11年から隔年で、産業展や伝統芸能、美味（うま）いもん市など、ふるさとの資源を再発見するイベント「商工フェア」を開催し、町内外から大勢の方が訪れています。また、平成18年には町料理飲食業組合、町交通安全協会、町内のタクシー会社と連携し、タクシー代行割引事業をスタートしました。「地元の飲食店やタクシー業界の売上減少の打開、飲酒運転の撲滅などを目的に実施しました。現在でも月平均約50台の利用があり、好評です」と現状を話します。

平成21年には、町商工会と舟橋村商工会が合併し、立山舟橋商工会として新たにスタートしました。「町内の商業や工業、農業などに携わっている方は、みんな町を愛し、よくしようという気持ちがあります。『活気のある立山町』を目指して、行政や各種団体などと連携をとり、地域の発展に精進していきたいです」と抱負を述べました。



松村 健一（まつむら けんいち）さん

昭和37年から38年間、学校教師や県・町教育委員会に在職し、教育力向上に尽力された。元上市町立白萩南部小学校長、元富山市立堀川小学校長、元町教育委員会教育長。70歳。蔵本新在住

「1日1日を大切に積み重ね、叙勲という栄誉に浴させていただき、感謝でいっぱいです」。

教師として最初に赴任した小学校で、児童から「自分でやりたいことをやって、自身を高めたい」と涙を流しながら打ち明けられたエピソードがあります。「子どもの本心を強く感じました。そのときの感動は教師人生を通して忘れることはありません」。

立山北部小学校や堀川小学校の勤務などを通して、子どもたちの個性や自主性を最大限に発揮できるよう、一人1個得意なものを掘り起こす「プラスワン」の教育手法に取り組んできた松村さん。「注意ばかりしていると、子どもの大事な特性が失われます。相手を尊重し、褒めることに徹しました」と強調します。

堀川小学校長時代には4年間毎朝、登校児童全員に握手をしたそうです。「目を合わせることで、お互いの心が豊かになりました。卒業後、教え子が家に遊びに来ることもあります」とうれしそうに話します。

教育行政面では「自身を磨く教師にならない限り、子どもたちの成長はない」と県・町教育委員会に在職中、望ましい学校経営や教員像などについて研究・指導を重ねました。

現在は、大学時代に始めたチェロ演奏で余暇を過ごしているほか、自身の経験を生かして現役教師の相談にも乗っています。「今後も教育発展のために精進します」と話しました。

善意銀行 ～4月受付分～

- ●30万円　舟崎　邦雄様
- ●10万円　藤井　好博様
- ●10万円　酒井　光賢様
- ●5万円　中山　恵美子様
- ●2万円　稲澤　実様
- ●10万円　寳田　徹様
- ●30万円　石田　博信様
- ●5万円　才智　政義様
- ●5万円　山田　実様
- ●ポータブルトイレ1台、四点杖1本　匿名

環境保全基金

- ●2,700円　生ごみ堆肥化協力金

ちょっと一息

▼町営バス・ワゴンの取材を通じて「いろいろな人と会話ができて楽しい。交流の輪が広がっている」とうれしそうに話してくれた利用者が印象的でした。生活の足としてはもちろん、地域と施設、そして人の心をつなぐバスとして、なくてはならないものだと強く感じています。

▼新潟市から訪れた宮下さん親子3人（9ページ写真）は、約20年ぶりに称名滝に訪れたそうです。きっと家族としての思い入れがあったのでしょう。滝を眺める3人はとても晴れやかな表情をしていました。青空が広がった5月5日、心温まる取材になりました。（たつよし）